



ニッポンの事業競争力を強くする！ 事業継続等の新たなマネジメントシステム規格とその活用等による事業競争力強化モデル事業

事業概要

各グループ概要

取組紹介

イベント

事務局通信

メディア掲載

＜当コーナーについて＞

当事業運営事務局(ニュートン・コンサルティング)のメンバーが各グループの取組現場を訪問し、感じたこと、感動したこと、考えさせられたことなどをお届けします。各グループの熱い思いが少しでも伝われば幸いです。



内海 良



高橋 篤史



黒崎 繁雄



村田 成巳

report: 石坂産業株式会社

産廃廃棄物処理のイメージを変える



グループ担当
 コンサルタント
 今川 恭宏

こんにちは。運営事務局の今川です。厳しい寒さが続いておりますが、皆様いかがお過ごしでしょうか。今回は、産業廃棄物の中間リサイクルを行っている石坂産業株式会社様の取組を、三度にわたる訪問時の感想も交えてご紹介いたします。

皆様は「産業廃棄物処理」に対してどのようなイメージをおもちでしょうか。「大量の廃棄物を埋め立てる」「環境に悪い」等、どちらかと言うとプラスとは言いがたい印象なのではありませんか。昨夏、工場見学のために石坂産業様を初めて訪問した時点では、私自身もまさにそんなイメージにとらわれていました。

しかし、事業内容を詳しく伺ううち、そんな印象とはかなりかけ離れた取組をされていることを理解したのです。同社では、家を取り壊した建設廃棄物から、土を分別して砂に作り替えて社会インフラに再利用するなど、減量・リサイクル率97%を達成しています。廃棄物の大半が埋め立て地行きだと想像していましたが、全体のわずか3%と聞いて大変驚きました。

坂産業様では、地域住民の安心・信頼を得るための設備投資や活動にも注力しています。たとえば、廃棄物処理の際に発生する粉塵を周辺地域に出さない設備、そして工場の奥に広がる森林パーク。後者は「くぬぎの森環境塾」という自然を体験する場にもなっています。石坂産業のご担当者は、自社の産業を「迷惑産業」と謙遜していらっしゃいましたが、実際にパークを見学し、生物多様性や森林保護への取組を知り、私はすっかり感動しました。

で、石坂産業様では以前より業界初である5統合のマネジメントシステムを運用しています。それに加え、当事業においてISO22301の認証を取得したことで、今では6統合マネジメントシステムを運用することになりました。「ISOの取得は目的ではなく、自社の競争力を強化するための手段」という考えに基づいて、自組織の生産性や効率性向上にとどまらない、外部に向けて自社の取組を周知する広報ツールとしての効果も期待しているとのことでした。

材をリサイクルし、インフラ設備に戻すという事業は日本国内だけでなく、海外でも高い関心を呼んでいるようです。毎日のように他業種、他国からも見学者が訪れるとのこと、南米諸国10か国の大使が見学に来られた際の写真を見せていただきました。産廃処理のイメージが払拭されるためにも、同社の広報活動に期待していききたいと思います。

年12月中旬、エコプロダクツ2013に出展中の同社展示ブースを訪問しました。環境改善をテーマとするエコプロダクツは、まさに環境保全活動のアピールに絶好の場です。木材ベースの親しみやすいブースでは美味しい狭山茶と羊羹が用意され、子どもから

し石さ廃 お年寄りまで幅広い方々が石坂産業様の活動に関



心を寄せており、企業のみならず一般に対しても積極的に情報を発信されている姿勢を感じることができました。ちなみにこのブースは700の出展者の中からエコ&デザイン大賞特別賞を受賞しました。

三度の訪問で私の印象に

強く残ったのは、地域の方々や周辺環境を大切にする経営理念や姿勢です。6統合マネジメントシステムを有効活用することによって、企業全体への経営理念の浸透や品質の向上、宣伝効果といった活動を効果的に展開している同社は、統合マネジメントシステムのメリットを体現する一つのモデルと言えるのではないのでしょうか。🇯🇵🇺🇸

